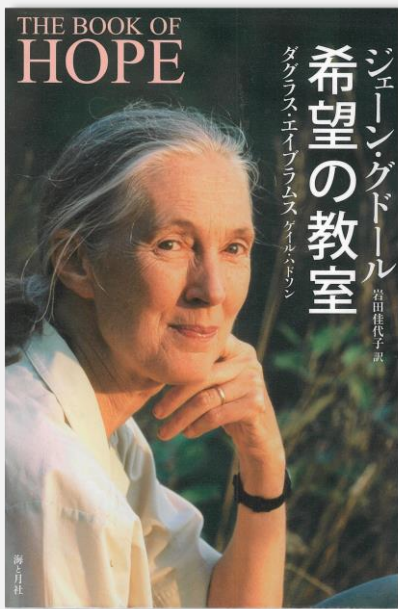


すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp

Book Review

図書館司書おすすめの1冊



『希望の教室』

ジェーン・グドール、ダグラス・エイブラムス／著
岩田佳代子／訳（海と月社）2022年

野生チンパンジーの生態調査で知られる動物行動学者で、環境保護活動家、国連平和大使でもあるジェーン・グドールに、作家で編集者のダグラス・エイブラムスが、尋ね、語り合った。

そもそも希望とは何か。単なる願望で、厳しい現実を故意に否定するものではないか考えるダグラスに、ジェーンは、希望は逆境の中でも進み続けることを可能にし、誰もが叶うことを願うもので、積極的に行動してこそ得られるものだという。希望のメッセンジャーとして多くの人にその大切さを訴えるジェーン自身が希望をなくした事はないのか。人類の未来に希望を失った事は。戦争、新型コロナウィルス、気候危機に直面し、偏見や憎しみ、強欲や汚職など問題が溢れる世の中でも希望は抱けるのか。次々と問いかけるダグラスに、「人類の未来に希望はまだあると信じている」と言明する。そして、信じる根拠「人間の知力」や「自然の回復力」、「若者の力」に、「人間の不屈の精神力」について、自分の経験や世界中の友からの話を通して語り掛ける。チンパンジーの生態調査で直面した問題や9.11から生還したサバイバーツリー、絶滅の危機にあったブラックロビンを救った男性、若者に広がりを見せる環境プログラム、ルーツ&シューツなど。

第2次世界大戦下のイギリスで育ち、ルワンダとブルンジの大虐殺の時にはゴンベにいて人の悪も充分知っているジェーンだからこそ、その言葉に真実さを感じ、読み進めるうちに前向きな気持ちが芽生え、ワクワクさえる。「どんなことでも、何か行動を起こすことで状況はたしかに変わるのだ」という言葉が心に残る。(蔭木)

お知らせ

図書館講座

「ふるさと だいすき

—本を作って伝えたいこと—

日時：7/16(土)13:30～15:00

定員：50人(要申込・先着順)

講師：塚崎博行さん

スライムであそぼう！

日時：7/31(日)14:00～

対象：小学生 参加費：実費

定員：10人(要申込・先着順)

おりの達人と折ろう！！

日時：8/7(日)14:00～15:30

対象：小学4年生～一般

定員：20人(要申込・先着順)

参加費：実費

講師：鎌田美佐江さん

(日本折紙協会認定講師)

7月 文月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 ○
3 ●	4	5	6	7	8	9 ○
10 ●	11	12	13	14	15	16 ○★
17 ●	18	19	20	21	22	23 ○
24 ●	25	26	27	28	29	30 ○
31 ●★						

○印…おはなし会14:00～

●印…おはなし会10:30～、11:00～

8月 葉月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7 ★	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28 ★	29	30	31			

※館内整理日による休館

8月2日(火)、8月31日(水)

※祝日による休館

8月11日(木)

■色の日は休館日です。

開館時間／午前10時から午後6時

★印…各種講座・教室

『マウルスと三びきのヤギ』

アロイス・カリジェ／文・絵
大塚 勇三／訳
(岩波書店) 1969年



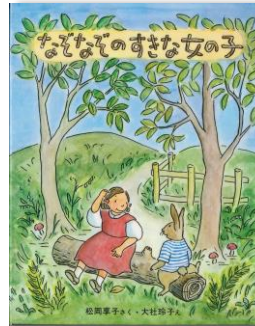
マウルスはヤギ飼いの少年です。夏の間は、一人暮らしのおばあさん、シュ

チーナさんの家に泊まり、毎朝、シュチーナさんの三匹のヤギと村のヤギたちを山の牧場へと連れていきます。ある日、山頂まで登ってひとやすみし、ヤギの数を数えると、三匹がいないことに気がつきました。雨が降り、雷の鳴るなか、近くの牛飼いのおじさんの山小屋まで走り、ヤギを見なかったかたずねると、森で谷川の向こうからずの音が聞こえたと教えてくれました。谷川に着くと、増水した川の向こう岸から、かすかにヤギのすずの音が聞こえてきました。マウルスは二つの岩が向き合う所から、向こう岸へ跳び渡ったとき足をひどく痛めてしまいましたが、杖に寄りかかり足をひきずりながらも無事三匹を見つけだします。

天候の変化が激しいアルプスの険しい山や森の中で、必死に三匹を探す様子が細い線で細部まで丁寧に描かれています。シュチーナさんに足を手当てしてもらいながら今日の出来事を話したあと、ベッドにもぐりこんで眠りはじめるマリウスからは幸せな気持ちが伝わってきます。(尾崎)

『なぞなぞのすきな女の子』

松岡 享子／さく
大社 玲子／え
(学習研究社) 1973年



毎日、家のなかでなぞなぞを出していた女の子は、お母さんから別の人を探してやりなさいと言われます。森へ

行くと、お昼に食べる子どもを探していたオオカミに出会い、なぞなぞを出しました。オオカミはすっかり考え込んでなかなか答えられず、たいくつした女の子は、オオカミが目をつぶっている間に家へ帰ってしまいます。お昼が過ぎ、お腹がなっても考えていたオオカミは、なぞなぞ好きの子ウサギのヒントでやっと答えがわかると、森を走りぬけ女の子の家へ向かいます。留守番をしていた女の子は、オオカミの姿が見えると玄関に鍵をかけ、窓を全部閉めて、二階の窓から顔をだして待ちました。オオカミは、なぞなぞに答えられなかったら私を食べてもいいと女の子に言われ、今度は一生懸命なぞなぞを考えることになりました。

なぞなぞあそびをしたい賢い女の子と、女の子を食べたいまぬけなオオカミのかけ合いが愉快で、オオカミを怖がりながらもヒントを出す子ウサギに笑みがこぼれます。女の子が出すなぞなぞはユーモアがあり、最後にオオカミに答えを伝える様子は痛快です。(馬場)

Information

- あそばせ隊 おはなし会
毎週土曜日 / 14:00~14:30
幼児・小学生対象
- 図書館 おはなし会 毎週日曜日
小さい人(5歳以上) / 10:30~11:00
7月のおはなし
「まめたろう」(『まめたろう』東京子ども図書館)
- 大きい人(小学3年生以上) / 11:00~11:30
7月のおはなし
「りこうなおきさき」(『りこうなおきさき』岩波書店)



★マスクを着用して参加してください★

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要

令和4年度 播磨科学公園都市圏域定住自立圏図書館読書活動推進事業

作家 玉岡かおる講演会

播磨発・知恵と工夫で拓く未来
『帆神』に学ぶモノづくりのこころ

と き: 8月28日(日) 午後1時30分~

ところ: さよう文化情報センターホール

※申し込み方法などの詳細は後日お知らせします※